

子供たち全員が、問題発見・解決の過程でクラウドを活用できる（2年目）

広報を含む情報発信の工夫



学習指導等支援
ビジョンを示し、
目指す授業の指針
を策定

研修・周知

1人1台端末の意義、
教職員への研修、
家庭への周知

各教科等における 資質・能力の育成

「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の
一体的な充実



持ち帰り、支援体制

端末持ち帰り実施の
ためのルールと家庭
との連携

活用のための整備

問合せ先設置、ネット
ワーク整備、指導者用の
学習指導端末、クラウドID

市町村（学校組合）
教育委員会

ID・Pass

タイピング

情報モラル



長野県ICT 教育推進センター

【課題の設定】

疑問や願いなどの共有、課題
の設定に向けた意見交換

【まとめ・表現】

互いのまとめの共有、
他者からのコメント
などの確認や他者評
価を踏まえた自己評
価の充実

【情報の収集】

収集した資料などの共有や情報の
やり取り

【整理・分析】

多様な情報を「比較」「分類」「序列化」
「関連付け」などにより見える化

クラウドによる同時共同編集

学校

先生たちが クラウドに 近く一歩	使いながら 習得	児童生徒と 先生との 双方向での つながり
答えが一つ ではない 授業	同時共同 編集	やわらかい 雰囲気での 意見交換
発表、 プレゼンテ ーションの場 の設定	児童生徒が 意欲的に取 り組む活動	他の実践を 真似



教員のICT活用技能レベル向上と支援・研修のスケジュール

令和6年度の目標：子供たち全員が、問題発見・解決の過程でクラウドを活用できる（2年目）

日常への溶け込み
がはじまる



授業の中で主体的
な活用が広がっていく



日々の授業で
関わって探究していく



STEP 1
クラウドを活用して授業を行っている

STEP 2
教科のねらいや授業改善をふまえて、全教員がクラウドによる同時共同編集による授業ができる

STEP 3
教科のねらいや授業改善の視点で、全教員がクラウドによる同時共同編集により意見交換のある授業ができる

STEP 4
教科のねらいを達成するため、子供たちが問題発見・解決していく過程でクラウドを活用する授業ができる

STEP 5
教科のねらいを達成するため、日常的に全教員がクラウドを活用し、デジタル教科書と組み合わせ、授業改善を進める

自分なりの
問題解決に取り組んでいく



R6 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 / R7~

指導主事
訪問研修

クラウドをフル活用した授業づくりや CBTに関する研修

デジタル教科書導入と活用・授業改善 生成AIの活用にもむけて

センター
研修

教科ごと すべての講座で授業への活用研修

リーダー
研修

指導主事研修

校長・教頭研修

(全教員対象) 毎年開催・教育課程研究協議会

(校内研修にて) ICT活用による授業づくりをブラッシュアップ